

ポロニア

ポロニアは県花「桐」の学名です。

第36号

2016-7

平成28年7月20日発行

発行／岩手県高等学校PTA連合会

【事務局】盛岡市上田三丁目2-1 TEL(019)625-6386
E-mail iwa_koupren@ybb.ne.jp FAX(019)613-7795

平成28年度 県高P連 定期総会・研究協議会開催

岩手県高等学校PTA連合会の平成28年度定期総会・研究協議会は6月8日、盛岡市のサンセーブル盛岡で開かれました。66校の各PTA会長、副会長、校長、事務局長ら約250人が出席し、今年度の事業計画や収支予算が承認されました。研究協議会では選挙権年齢の18歳への引き下げがテーマになりました。子どもたちが選挙運動を行ってもいいのかなど、家庭での主権者教育への対応について学びました。

保護者Pが、Tである先生方の協力を得てしっかりと高校生と向き合い、スクラムを組むことが必要だと感じています。同じ方向を向いて問題に立ち向かってまいりましょう」と呼びかけました。

渡辺正和会長はあいさつで「全国大会岩手大会は大成功であったと高い評価を受けました。これも会員の皆様一人一人が、心に残る大会にしようと努めてきたからにはかならないと考えています。選挙権年齢の引き下げのほかにもスマホ、貧困の問題など高校生をめぐる環境は昔とだいぶ変わっています。高校生にとって一番身近にいる

総会では議事に先立ち表彰式が行われ、各校で役員を務めた65人が表彰されました。代表して岩手県高P連27年度母親委員長の太浦奈保子さん（盛岡第三）が「初めて母親委員長という立場で表彰をいただきました。ありがとうございます。子どものお蔭で経験できるのがPTA活動だと思っています。楽しかった思い出があります。もう二、三人産んでおけばよかったです」と謝辞を述べました。第20回広報紙コンクールの入賞校も表彰されました。黒沢尻北のPTA会報は東北地区で優秀賞を受賞しました。（2面に表彰者と入賞校を掲載しています）



▲最前列で表彰を受ける功労者と総会出席者

高橋嘉行岩手県教育長、平賀信二岩手県高校長協会会長、五十嵐のぶ代岩手県PTA連合会会長が来賓としてあいさつしました。

議事では、平成27年度会務報告、同収支決算、28年度活動方針と事業計画、同収支予算、役員改選など提出6議案がいずれも原案通り了承されました。

昨年度の全国高P連岩手大会の会務報告は議案として提案さ

れました。全国から目標を上回る9540人が参加、県内の協力会員の数は延べ1766人に上り、アトラクションや講演についても高い評価でした。

今年度の活動方針では、関係団体などとの連携を密にして活動を推進することとしています。事業計画には熊本地震災援金募集活動や、29年度に本県が会場となる東北高P連大会への準備などが盛り込まれました。28年度一般会計収支予算は前年度より55万724円多い総額1326万3492円となりました。各PTAの活動に補助（二団体5万円を上限）をする特別助成金の枠が拡大されました。積極的な活用を呼びかけて活動を支援します。

研究協議会は総会に引き続き開



研究協議後の講演から
演題「世界市民を目指して」
講師
平井ふみ子氏
（ガールスカウト
岩手県連盟長）

総会の後、ガールスカウト岩手県連盟長の平井ふみ子さんが「世界市民を目指して」と題して講演しました。世界市民とは、人とのかわりを大切にして生きること、困っている人がいたら手を貸すこと、ガールスカウトの活動理念として使われている言葉です。

平井さんはこの精神で数々の市民団体などを立ち上げ、災害ボランティアやユネスコの活動、性教



▲総会であいさつする渡辺正和会長

かれ、岩手県教育委員会事務局学校教育室の佐々木寛主任指導主事が「18歳選挙権引き下げに係る主権者教育の取り組みについて」と題してプレゼンテーションをしました。選挙権が認められれば、高校生でも選挙運動が可能になります。学校の外では、選挙運動をすることがどうかは、生徒の自主判断にゆだねられます。佐々木氏は「改めて、大人の判断が問われます」と話していました。

育、セクハラ被害女性への支援など、現代社会の問題に目を向けて数十年間活動を続けてきました。それらの取り組み事例を紹介しながら世界市民としての生き方を語りました。

「女子だけの環境で行われるガールスカウト教育は自分たちでなんとかしようとする力がつき、重い荷物はみんなで運ぶ、物事を決めるときは話し合って決める、自ら考え行動する力、高いコミュニケーション能力、独りよがりではないリーダーシップ能力が培われる」と話しました。

表彰受賞者

28年度役員

Table listing award recipients with columns for school names (e.g., 盛岡第一, 盛岡第二) and names (e.g., 柳澤美智子, 渡辺正和).

Table listing 28th year officers with columns for position (e.g., 理事, 副会長) and names (e.g., 柳澤美智子, 渡辺正和).

Table listing award recipients with columns for school names (e.g., 盛岡青松支援, 葛宮内) and names (e.g., 平賀信二, 松尾正弘).

Table listing officers with columns for position (e.g., 顧問, 監事) and names (e.g., 平賀信二, 松尾正弘).

平成27年度岩手県高P連 第20回広報紙コンクール入賞校

Table listing award-winning schools for the 20th Public Relations Paper Contest, including categories like 優秀賞 (Excellent) and 優良賞 (Good).

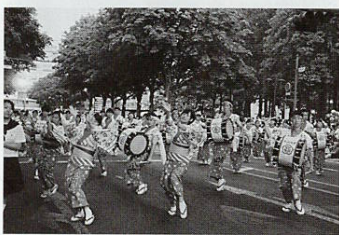
(☆は東北地区広報紙コンクールへの推薦校)

平成28年度全国優良PTA文部科学大臣表彰推薦校

Table listing schools recommended for national PTA awards, including 黒沢尻北高PTA and 久慈高PTA.

平成28年度第65回東北地区仙台大会表彰

Table listing schools and their officers for the 65th Tohoku Region仙台大会 awards, including 感謝状推薦者 (Certificate of Appreciation) and 個人表彰推薦者 (Individual Award).



▲盛商さんさ

保護者が行事を通してできる限り学校に足を運んで子供に寄り添い、自立し成長しようとする子供たちの心を支えることが「桜商健児」へのPTA活動の役目だと考えています。

「桜商健児」に寄せる想い

本校は校訓の「至誠・協同・自立」とともに、建学の精神としての「土魂商才」が代々受け継がれ、今年で二〇三周年目を迎える岩手県内屈指の伝統校であり、専門教育を主とする学科を有する商業高校です。平成二五年には創立一〇〇周年を迎え、その記念として「盛商さんさ」が創設されました。生徒の皆さんは母校愛と故郷を愛し地域貢献を胸に、八月の「盛岡さんさ踊り」をはじめ様々なイベントに参加しております。



岩手県立盛岡商業高等学校 PTA会長 宮田 良則

がんばる岩手

第11回

岩手県立金石高等学校PTA会長 岡道 博美



▲釜高祭チョコス販売



▲釜高祭バザー

活動に一生懸命取り組んでいます。一方、SSH指定校として課題研究や海外研修に取り組み素晴らしい成果を上げています。このように「学業と部活動の両立」、「文礼一如」の校訓の下、日々精進しています。

本校のPTAは、会報、研修、健全育成、母親の四つの委員会です。活動しています。その中でも、母親委員会は釜高祭での喫茶「マミー」とバザーを運営し、チョコスやドリンクを販売しています。子どもたちと一緒に調理したり出張販売を行い、先生方や保護者、地域の方々に大変喜ばれています。バザーの商品はPTAや地域の方々が、先生方に協力していただいています。また、研修委員会では大学見学と観光を兼ねた研修旅行を行っています。自由奔放な保護



本校は昨年度末に硬式野球部が選抜大会出場、初勝利を挙げ、空手道部が全国大会出場と部

者(母親)に担当の先生は苦勞していますが、大学進学に役立つと保護者に大好評で、年々参加人数も増え、楽しく交流することができています、先生方ありがとうございます。

最後に、これからも子どもたちと一緒に学校生活を楽しめ、また保護者の方々が気軽にPTA活動に参加できる環境を作っていきたいと思っています。皆さん頑張ります。



▲釜高祭喫茶

請求なければ支払いなし

(一社)全国高P連賠償責任補償制度

PTA単位で加入する制度で発足後15年目となりました。

〈加入状況〉全国 4,862校 1,276,502人
岩手県 68校 28,115人

〈事故の際は〉全国高P連賠償責任補償制度事故受付電話
0120-119-110

岩手県高P連高校生総合保障制度

〈加入状況〉

Aプラン(病欠補償あり) 61校 2,443人

Bプラン(病欠補償なし) 61校 622人

Cプラン(自転車重点型) 62校 1,344人

〈引受保険会社〉

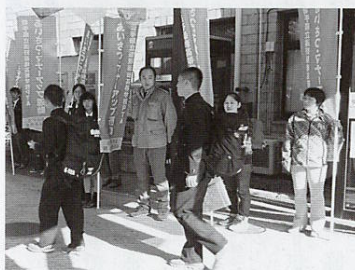
AIU損害保険株式会社盛岡支店

TEL019(653)1411

おらほのPTA



▲緑峰祭 食券販売

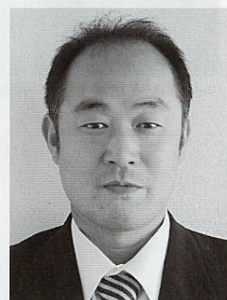


▲登校時一声運動(遠野駅前)

また、「緑峰祭」ではPTA主催の餅まきも毎年好評です。昨年度はPTA役員会で提案された意見を反映し、各企画から提供された商品引換券を入れて餅をまくという新しい試みにも挑戦し、例年以上に盛況でした。遠野駅前と正門前で行う登校時一声運動にも力を入れています。学校独自の幟を掲げ、生徒・先生方と共に元気に「おはようございます。」と挨拶を交わします。すがすがしい気持ちになると共に、駅前での活動は地域の方々へのPRにもなっていると思います。

未来ある子ども達のために

岩手県立遠野緑峰高校
PTA会長
新屋 義則



本校は生産技術科と情報処理科を設置し、特色ある農業教育と商業教育をとおして、地域産業と地域社会を支える人材を育成しています。

PTA活動のメインとしては、「緑峰祭」における食堂運営の補助が挙げられます。調理は業者へ委託していますが、2日間にわたって合計800食のカレーライスとうどん、350食のケーキやコーヒを提供します。生徒達と一緒に配膳や受け渡し、食券の販売を行います。最初はお互いに照れくさく、ぎこちない雰囲気も次第に息がびつたり。あつという間に割当の時間が終了してしまいます。学校での我が子の様子も見ることができるので、楽しみに参加している方もいます。

平成29年度開催 第66回東北地区高P連盛岡大会について

盛岡大会概要決定、実行委員会が始動

第66回東北地区高等学校PTA連合会の大会が来年7月に盛岡で開催されます。

この大会は会員が相互に連携し、研修・研鑽を積み重ね、今後のPTA活動の更なる発展に寄与する目的で開催されます。各県からPTA活動についての発表、基調講演、高校生の発表等が主な内容となります。6月8日に開催された県高P連の定期総会で日程や会場等の概要、実行委員会の組織等について提案され承認されました。その後6月22日（水）に第1回実行委員会が開催され、日程・会場、準備の進捗状況、役割分担等を確認し、今後検討すべき事項等についても話

し合いました。いよいよ来年の大会成功に向け、組織としての取り組みが始まりました。今後大会テーマ、講演の講師、業務推進計画の詳細等について検討していきます。岩手県では前回平成22年度に盛岡で開催されています。日程や会場がほぼ同じですので前回の取り組みを参考にしながら進めていきたいと考えています。岩手らしく充実した大会にするために皆様からいろいろなご意見を寄せていただければと思います。

例年東北大会の参加者数は約1,500人です。東北各地から多くの方が盛岡に集まります。心を込めてお迎えしたいものです。大会を盛り上げるためにも県内のPTA会員にも多くの参加をお願いいたします。全国大会での経験を生かしながらみんなで力を合わせて取り組んでいきたいと思っております。

大会概要・大会日程

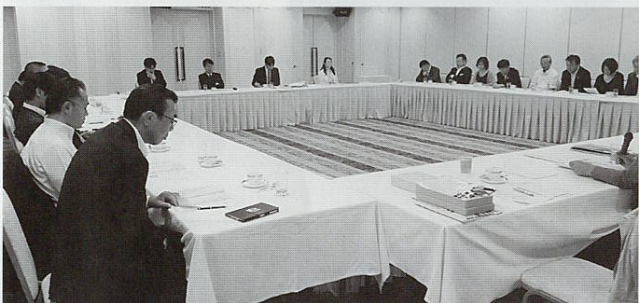
- 1 期 日 平成29年7月6日(木)～7日(金)
- 2 会 場 盛岡市民文化ホール(大会、諸会議)
ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
(情報交換会)
- 3 主 催 東北地区高等学校PTA連合会
- 4 共 催 (一社)全国高等学校PTA連合会
- 5 後 援 岩手県教育委員会、盛岡市教育委員会、
岩手県高等学校長協会(予定)
- 6 主 管 岩手県高等学校PTA連合会
- 7 参加費 3,500円(昼食含む)
- 8 情報交換会費 6,000円
- 9 大会日程

7月6日(木)

| | |
|-------------|--|
| 10:00～11:30 | 大会運営会議 盛岡市民文化ホール |
| 13:00～15:00 | 大会準備・打合せ 盛岡市民文化ホール |
| 15:00～16:00 | 研究協議打合せ(発表者、助言者、司会者、他関係者) 盛岡市民文化ホール・会議室 |
| 17:30～19:30 | 情報交換会 ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング |

7月7日(金)

| | |
|-------------|------------------------|
| 9:00～9:30 | 大会受付 盛岡市民文化ホール 大ホール |
| 9:30～10:30 | オープニング、開会行事 |
| 10:40～12:00 | 研究協議 |
| 12:00～12:45 | 昼食 |
| 12:45～13:10 | 高校生発表 |
| 13:15～14:40 | 基調講演 |
| 14:40～14:50 | 高校生によるアトラクション |
| 14:50～15:00 | 閉会行事 |



▲第1回実行委員会 平成28年6月22日(水) ホテルルイズ

編集後記

人生意気に感ず。人は利害や打算で行動するのではなく、相手の心意気に感動して動くものだという事。東日本大震災、そして数か月前に発生した熊本地震。テレビ、ツイッターやフェイスブックと言われるいわゆるSNSを通じて、子供たちは見ていました。傷ついた人たちが、協力し合う人たちが、そして何とか立ち上がるという奮闘する人たちを。そして、子供達は気づいています。自分達が今、何をしたらよいか、そして何ができるか大人以上に。本当にたくましい事です。しかしながら、SNSの普及による犯罪被害にあった18歳未満の児童の数は増加傾向にあります。PTAとしても情報を共有する事。そして、その情報を発信し続ける事が子供たちを犯罪被害から守る事の一つだと思います。その手立てとなるよう、今後も広報誌「ポロニア」にて情報発信に努めて参りたいと思います。最後になりましたが、「ポロニア」発行にあたりご多忙のところ、原稿の執筆に快くご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

(調査広報副委員長・高橋輝幸)

〈編集委員〉調査広報委員会

- 委員長 柳澤美智子(杜陵)
副委員長 高橋輝幸(盛岡農業)
委員 高橋輝彦(西和賀)
及川信太郎(水沢農業)
菅原規正(福岡)
小松代元(杜陵)
高橋秀幸(県高P連)
木村智子(県高P連)

◇事務局

- 高橋秀幸(県高P連)
木村智子(県高P連)